

支倉常長フェロー報告書

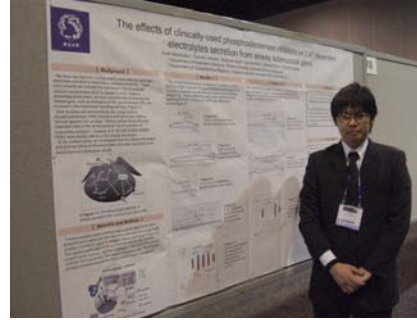
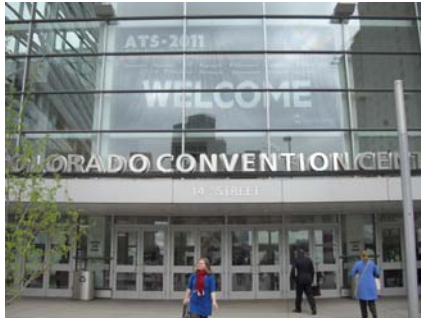
提出日 2011年 5月 26日



申請者	氏名	村松 聡士
	所属・職	呼吸器病態学分野・大学院生
出張期間	2011年 5月 14日 ~ 5月 19日	
渡航先	アメリカ合衆国・コロラド州・デンバー	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・( )	
発表演題名あるいは共同研究課題名	The effects of clinically used phosphodiesterase inhibitors on Ca <sup>2+</sup> -dependent electrolytes secretion from airway submucosal gland	

得られた成果など

今回支倉フェローのご支援のもと、5月14日～5月19日にアメリカ合衆国・デンバーにて開催されたアメリカ胸部学会に参加させていただきました。5月15日にはポスターセッションにて上記演題の発表を行いました。



以前より PDE (phosphodiesterase) inhibitors は閉塞性肺疾患である、COPD や気管支喘息に使用されておりましたが、PDE inhibitors の気道分泌への影響等は未解明な点が多いのが現状です。我々の発表は気管支粘膜下腺細胞からのイオン電流を、パッチクランプ法を用いることによって測定し、PDE inhibitors によるその増強、抑制作用に関する細胞内シグナル経路の可能性を示唆したという点で、海外研究者からも興味深い研究であると認めていただきました。

他のセッションでの発表にて様々な知見を得ることができました。学会期間中は今後の研究を発展させるための、有意義な時間を過ごせたと思います。このような機会を与えていただき感謝いたします。

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。